



秋の森の宝石探し



秋の森にたくさん落ちていて、小さくて、つやつやしているものはなんでしょう？答えはおなじみの「どんぐり」。子どもたちはもちろん、大人も小さな頃はたくさん拾って遊びませんでしたか？今回はそのきらきらのどんぐりが森をつくるタネだというお話をしたいと思います。



どんぐりと里山

どんぐりはブナ科の木の果実の俗称です。どんぐりの実る木には、人々の生活と深く関わってきたものがあります。クヌギやコナラなどは、雑木林によくある樹木で、これらは昔は薪や炭に使われていました。また、きのこのほだ木となったり、落ち葉は畑作の肥料に使ったり…！！
このように人が生活を通じて自然とつながっていた環境を「里山」と言います。里山は人の手が入った環境ですが、それにうまく適応して生活する動物や植物がたくさん生息しています。

例えば、人の手が入る里山の林は、陽の光が入り、林床（林の下の方）まで明るくなります。暗い森では育つことができない植物が、ここでは育ちます。キンランやフデリンドウなどが代表的です。

どんぐりのなるブナ科の木々も里山の大事なメンバーです。クヌギやコナラなどは、冬には葉をおとし、明るい林床をつくります。きらきらひかるどんぐりの実は里山をつくる大事なタネだったのです。



横須賀には、現在「里山」はほとんど残っていません。しかし、私たち横須賀市では、人と自然がつながる場所としての里山の役割に注目し、「里山的な環境」の創造を目指しています。

どんぐり・里山については中、裏面にも記事を載せています。



秋の環境学習講座やイベント



横須賀市自然・人文博物館

天神島めぐり「海浜昆虫」

日時 10月16日(日) 10:30~12:00

場所 天神島臨海自然教育園

締切 10月2日(日)

定員 20名

自然観察会「森の散歩と昆虫クラフト」

日時 11月13日(日) 10:00~15:00

場所 馬堀自然教育園

締切 10月30日(日)

定員 20名

*参加には保険料50円が必要。

*対象は小学生以上、小学生は保護者同伴。

*申し込みは往復はがきに、行事名・参加希望者(家族に限る)の住所・氏名・年齢・電話番号を往信面に、住所・氏名を復信面に記入のうえ、下記問合先へ。

企画展示「相模湾と三浦半島~深海から空へ~」

日時 10月22日(土)から12月25日(日)

場所 横須賀市自然・人文博物館特別展示室(入場自由)

内容 相模湾の深海調査で得られた貴重な岩石資料・生物資料を展示。また、相模湾と三浦半島の地球科学的な関わりについても紹介。

博物館フォーラム「自然の探究」

日時 10月29日(土) 13:00~16:30

場所 横須賀市自然・人文博物館講座室

内容 自然に関する研究活動を行っている市民と学芸員が日頃の成果を発表。

定員 100名(先着順)*発表者公募(締切9月30日(金))

問合先

〒238-0016 横須賀市深田台95

横須賀市自然・人文博物館

TEL046-824-3688

市民大学後期講座(全27講座)

海洋研究開発機構の地球システム科学

~海・陸・空・命・匠について考える~

日時 11月10日(木)から1月26日(木)

毎週木曜 全8回

13:30~15:30

場所 生涯学習センター(まなびかん)

定員 40名

受講料 4,200円

締切 9月25日(日)

応募方法 ハガキ、電話、インターネット、窓口のいずれか

応募・問合先 (財)横須賀市生涯学習財団

TEL046-822-4873

詳細は「市民大学」ホームページをご覧ください。

http://www.mmjp.or.jp/shogaigakushu/sub_new/03_daigaku/index.html

よこすかの秋の魅力

エコミュージアム・猿島探訪

日時 10月15日(土) 9:00~12:00

場所 猿島公園(集合は三笠棧橋)

内容 猿島の自然や歴史の魅力を猿島公園専門ガイドが紹介。

対象 小学生以上

(小学生は保護者同伴)

参加費 大人(中学生以上) 1,130円

小人(小学生) 530円

*渡航費・保険料含む

定員 100名

締切 9月26日(月)

応募方法 往復ハガキを郵送あるいはメール

応募・問合先 横須賀市環境政策部緑地管理課

TEL 046-822-9799

pa-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp

プロジェクト・ワイルド

観音崎公園で遊ぼうよ!

日時 10月9日(日) 10:00~12:00

場所 県立観音崎公園ビジターセンター

内容 「自然のおもしろさ」「環境のたいせつさ」をゲームを通して楽しく学ぶ。秋の自然発見ゲームをします。

対象 小学生以上 20名

参加費 200円

締切 10月5日(水)

応募・問合先

・観音崎公園ビジターセンター

TEL046-843-8316

横須賀市地球温暖化対策地域協議会 秋休みイベント

わくわく環境教室

~見て!作って!楽しく学ぼう 電気と地球温暖化~

日時 10月11日(火) 14:00~16:00

場所 (財)電力中央研究所

市内長坂2-6-1

※現地集合・解散(自家用車可)

※市役所から送迎バスも有

内容 ①電気の正体をさぐるう

お話と実験、

工作「釣り糸ファイバー」

②研究所の施設見学

対象 小学生の親子

定員 25組50名 先着

定員になり次第締め切り

応募方法 電話にて申し込み

応募・問合先

横須賀市地球温暖化対策地域協議会事務局

(横須賀市環境政策部環境企画課内)

TEL046-822-8524



三浦半島「自然ふれあい楽校」オータムフェスタ2011

湘南国際村めぐりの森は、かつて葉山町の上山口から横須賀市の子安の里に続く里山でした。2010年7月に「協働参加型めぐりの森づくり推進会議」が組織され、推進会議の1グループとして「自然ふれあい楽校」は、自然体験スクールや里山環境維持の活動をしています。今年もサマースクールに引き続き、自然ふれあい楽校のオータムフェスタが開催されます。秋の森を満喫できる内容となっています。

	日時	プログラム	対象(募集人数)	参加費
①	11月3日(祝) 13:30~15:30	大きなタブの木の下で 「小さな音楽会」	小学生以上 (30名)	中学生以上1,000円 小学生500円
②	11月4日(金) 16:00~19:30	ススキ原っぱで 「虫の音と星空」観賞会	小学生以上 (20名)	中学生以上1,000円 小学生500円
③	11月5日(土) 9:30~15:00	「前田川」完全踏破~秋編~ 河口から源流まで	小学4年生以上 (20名)	500円
④	11月5日(土) 14:00~16:00	アキグミ広場で宮沢賢治の 「どんぐりと山猫」を聴く会	小学生以上 (30名)	中学生以上1,000円 小学生500円
⑤	11月6日(日) 13:00~16:00	「篠笛」を作って みんなで吹いてみよう	小学5年生以上 (10名)	1,000円

場 所 湘南国際村めぐりの森、湘南国際村センター

締 切 10月25日(水)必着

申込方法 内容番号(①~⑤複数可)と〒、住所、氏名、年齢、電話、FAX を往復はがき、メール、FAXのいずれかで送信

問 合 先 三浦半島「自然ふれあい楽校」 〒240-0105 横須賀市秋谷4575-2 野崎方

E-mail miurafureai@gmail.com 電話・FAX 046-857-8636

お知らせ

「花王・みんなの森づくり活動」

環境活動団体への助成のお知らせ

部門 ①「森づくり活動」分野

②「環境教育活動」分野

助成期間 2012年3月~2015年3月

助成金額 初年度50万円(上限)

募集期間 2011年10月31日(月)まで

問合先 財団法人都市緑化機構

電話 03-5256-7161

詳細は(株)花王HPをご覧ください。

http://www.kao.com/jp/corp_csr/social_activities_00_00.html

環境学習指導者になりませんか?

神奈川県環境活動人材育成講座のお知らせ

日時 10月1日(土)、8日(土)、14日(金)、22日(土)、29日(土)、11月5日(土)、12日(土)(全7日間)

場所 神奈川県環境科学センター(平塚市四之宮1-3-39)他

内容 環境に関する専門分野の講師による講義やワークショップの手法、学習プログラムの体験、施設見学など

締切 9月20日(火)必着

申込 応募フォーム又は往復はがき

問合先 神奈川県環境科学センター 環境活動推進課

環境学習担当 電話 0463-24-3311

詳細はHPをご覧ください。

<http://www.k-erc.pref.kanagawa.jp/release/201108/05-01.html>

横須賀ECO大賞募集

横須賀市内の優れた環境保全活動を表彰します。

対 象 市内で環境の保全・再生・活用等の活動を行っている団体(学校等含む)

表彰部門 (1)大賞
(2)部門賞

①小中学校部門、②地域活動部門
応募方法 応募用紙を郵送・FAX・Eメール等で提出(応募用紙は市施設に配架、また市ホームページからダウンロード可)

募集期間 9月1日(木)~10月31日(月)必着
表 彰 平成24年1月21日(土)

「環境フォーラム」内
応募・問合先 横須賀市環境政策部環境企画課
TEL 822-8327
ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp

*ホームページの応募用紙掲載ページ
<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4110/katsudou/>



季節の生き物を詳しく見ていくコーナーです。今回は「どんぐり」。「どんぐり」と言っても、実はたくさん種類があるのはご存知ですか？今回は三浦半島で見られる3種類を紹介します。

三浦半島最大のどんぐり：マテバシイ

マテバシイは常緑で葉が大きく厚いので、鬱蒼としたうす暗い森を作ります。落ち葉は分解されにくいので厚く重なり、森を歩くとふわふわです。そのため、マテバシイの森ではあまり下草は生えず、さまざまなきのこや、きのこ共生するギンリョウソウやタシロランなどの‘葉のない植物’がしばしば見られます。どんぐりは細長く、お尻が凹むといった特徴があり、炒ったりゆでたりして食べることができます。2年目に熟します。幹や枝は薪や炭だけでなく、海苔ひびなどにも利用されました。



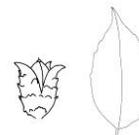
ドングリまなこのどんぐり：クヌギ

三浦半島で秋に落葉するどんぐりの木のほとんどはコナラとクヌギです。クヌギの葉は細長く、縁にはぎざぎざがあり、その先端は針状です（が痛くはありません）。昔は三浦半島ではたくさん植えて薪や炭にしました。どんぐりはほぼ球形で、「ドングリ眼」のどんぐりはクヌギの実に由来します。どんぐりは1年で熟します。あくがあるので、食用にはなりません。幹からは甘い樹液が出るのでカブトムシやクワガタムシ類がよく集まります。



生でも甘くておいしいどんぐり：スタジイ

スタジイはタブノキと並んで、三浦半島の森を代表する常緑樹です。どんぐりは、初めかたい殻で全体がすっぽりおおわれ、熟して殻の先が割れると出てきます。生でも甘いですが、炒ると一層おいしくなります。花は甘い香りを出し、花粉は甲虫などによって花粉が雌しべに運ばれ、どんぐりは2年目に熟します。幹や枝は薪や炭、シイタケのほだ木に、樹皮は魚網などの染色に使われました。



(横須賀市自然・人文博物館 大森学芸員)

本のもり



いのちを守るドングリの森

宮脇 昭：作
集英社新書

植物生態学の第一人者である筆者が語るドングリの力。その土地本来の樹木を植えることがなぜ大切なのか？それはどう作ったらよいのか？

筆者は、めぐりの森（中面参照）の植樹祭でも植樹指導をしています。

14ひきのあきまつり

いわむら かずお：作
童心社

14ひきのねずみの家族。森の中でかくれんぼしていたら、ろくくんがいない！探していると…。

秋の森がとてもきれいな絵本です。どんな生き物が見つかるかな？

ドングリの森小学校物語

井上 弘司：作
講談社

ドングリの苗で、大都会の小学生と長野県の農村がつながったー。農業体験や農家の人々、自然とのふれあいで、子どもたちがかわっていきま。農村交流に力を注ぐ筆者による、総合学習のヒントもたくさん。

みなさまからのECOな情報も募集しています。

発行：横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議 協力：横須賀市自然・人文博物館
（発行元）〒238-8550 横須賀市小川町11番地 横須賀市環境政策部環境企画課
TEL 046-822-8327 FAX 046-821-1523

E-mail: ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp

この情報誌は、横須賀市環境教育・環境学習ネットワーク会議のトライアル事業の一環として発行しております。「環境教育・環境学習ネットワーク会議」とは、市民・事業者・学校・行政等のさまざまな主体が集まり、連携して市内全体の環境教育・環境学習の推進を図るための会議です。